

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 感染症対策課
 担当名: 企画担当
 内線: 7503

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S28	新興感染症対策連携強化事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新興感染症対策事業費	
事業期間	令和7年度～ 令和11年度	根拠 法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型インフルエンザ等対策特別措置法			針路 分野施策	01 0104	災害・危機に強い埼玉の構築 感染症対策の強化	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-3
1 事業概要	<p>「流行初期以降」の訓練実施及びシナリオ等の作成により、関係機関との連携及び新興感染症対応力の強化を図る。 また、流行初期による个人防护具の不足に起因した医療停滞を防ぐため、个人防护具の不足する医療機関に対する支援を目的として、県で流行初期1か月分の備蓄を行う。</p> <p>ア 感染症版FEMAの拡充 契約差金等による減 △463千円 イ 新興感染症流行初期における必要物資の備え 契約差金等による減 △56,425千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 感染症版FEMAの拡充 3,658千円 → 3,195千円(△463千円) 「流行初期以降」の訓練実施及びシナリオ等の作成により、関係機関との連携及び新興感染症対応力の強化を図る。 イ 新興感染症流行初期における必要物資の備え 67,565千円 → 11,140千円(△56,425千円) 流行初期に个人防护具の不足する医療機関に対する支援を目的として1か月分を備蓄する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 医療機関をはじめ30機関の参加(令和7年度実績 45機関)により、「流行初期以降」の訓練を実施 訓練実施後に「シナリオ(具体的な対応内容や実施上の課題)」「役割分担表(各実施主体の対応事項)」「タイムライン(対応事項の時間軸)」「活動手順チェックリスト(アクションカード)」を整備し、関係機関に共有 イ 購入による備蓄を最小限にするとともに、使用期限の経過による廃棄を大幅に節減する。卸業者等と連携し、必要量を経済的かつ確実な方法で調達する。 初動 7日分 直接購入 残り24日分 流通備蓄(卸業者への委託)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 関係機関間における感染対策の課題・施策の共有 イ 医療機関が流行初期の1か月間について、个人防护具の不足なく、医療を提供できる。 【活動指標(アウトプット)】 FEMA参加機関30機関(令和7年度実績 45機関)、个人防护具等の確保1か月分 【成果指標(アウトカム)】 幅広い分野・地域の関係機関によるネットワークの構築 シナリオ等作成による新興感染症対応力の強化 物資不足に起因する医療提供停滞の防止</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 感染症版FEMAの拡充 契約差金等による減 イ 新興感染症流行初期における必要物資の備え 契約差金等による減</p>					
2 事業主体及び負担区分	<p>【厚生労働省】 感染症予防費補助金 ア (国1/2・県1/2) イ (県10/10)</p>								
3 地方財政措置の状況	<p>普通交付税(単位費用) (款)衛生費(細目)2感染症等対策費 (細節)感染症等対策費 (積算内容)个人防护具の備蓄に関する経費</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>9,500千円×2.5人=23,750千円</p>								
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△56,888							△56,888	14,335
現計額	71,223	1,557						69,666	

事業内訳書

事業名	新興感染症対策連携強化事業費		
単位事業名	感染症版FEMAの拡充	予算額	△ 463千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△463	—	
合計	△463	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△5	—	事務費の節減による減
需用費	△7	—	事務費の節減による減
委託料	△451	—	契約差金による減
合計	△463	—	

単位事業名	新興感染症流行初期における必要物資の備え	予算額	△ 56,425千円
-------	----------------------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△56,425	—	
合計	△56,425	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△23,559	—	契約差金による減
委託料	△32,866	—	契約差金による減
合計	△56,425	—	